
天気読み

木下さつき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天気読み

【Nコード】

N9892E

【作者名】

木下さつき

【あらすじ】

夕焼けの中、学校からの帰り道。飛んで行った靴から始まる恋のストーリー。

「えいつ」

カコーンと音がして、飛んでいくはずだった缶は、どうやらその場を離れたくなかったらしく、代わりに私のローファーが数メートル先に転がった。

気晴らしのはずだった行為が、逆にさらなる不機嫌を誘う。

「・・・チクシヨ」

女の子に似つかわしくないセリフをつぶやき、片足でなんとか前に進む。

そんな私を追い抜くように、ざっと音をたて、黒い影が横を通り過ぎる。

濃紺のブレザーはウチの制服だ。

私の靴を指先にひっかけ、その影がこちらを振り向く。

「何してんの？天気占い？」

夕陽を背負った影は、こちらへ戻りつつ、そう言ってクスッと笑った。

「はい」

と私のすぐ前にその靴を置く。

見上げると、端正な顔がこちらを面白そうにうかがっている。

「あ、あ、あの、ありがとう」

口ごもりながらも何とかお礼を言って、赤くなる私に、

「明日は晴れだね」

と目を細めて笑う。

とっさに何のことか分からず、彼の顔を覗き見ようと思ったのに、いい加減しびれを切らした左足が根を上げた。

「あつ」

転びそうになった私を、軽々と支える大きな手。

「しょうがないな」

と苦笑しながら、私の手を少し身をかがめた自分の肩に置き、

「早く履きなよ」

と促す。

「うん、ありがと」

とつぶやき、彼の肩につかまりながら、ローファーにそろそろと足をのばす。

彼も私が靴を履く様子を見ていたのだろう。肩から手を離し、見上げた私は真正面から彼の顔を見つめることになってしまった。

「あつ」

びっくりしながら、一步後ずさる。

「うん？」

彼は特に気にならなかつたらしく、私の様子を不思議そうに見ている。

何も言わない私に、返事をあきらめたかのように笑い。

「じゃあな」

と踵を返して、行ってしまふ。

だんだん離れてしまふ背中に、なんだか私は寂しくなって、少し小走りに追いかける。

少し距離を保ちながらついていく私を、振り返り、彼は立ち止まる。

「なんか、捨て犬みたいだな」

くすくす笑いながら、うつむく私の頭にポンと大きな手をのせ、

「一緒に帰ろうか？」

と私の前髪を指先ですくいあげて覗き込む。

恐る恐る、彼の顔を伺い、その笑顔にホッとしながら、私はコクリと頷いた。

「じゃあ、帰ろう」

と頭を引き寄せられ、彼の横に並び、歩き出す。

「さっきまで空き缶蹴ろうとして、「チクショー」って言ってた子が、おとなしいね。捨て犬っていうより、猫かな。借りてきた猫って感じだな」

少し歩いたところで、彼はくすくす笑いながら、私の頭をなでた。

もうこの頃には自分の不機嫌の理由も何もかも忘れていた私は、

「・・・いじわる」

と、道端の小石を蹴ろうとした。するとまたもや空振りして、私を裏切った靴は空を飛ぶ。

呆然とする私に、もう堪えられないとばかりに嘔き出しながらも、

彼は再び靴を履かせてくれた。

「さあ、もう帰ろう」

私に手を差し伸べて、笑いかける。

その手を取った私を引っ張りつつ、彼が振り返る。

「やっぱり明日は晴れだな」

(後書き)

お疲れ様でした。

夕暮れのなか、憂鬱な気分がパタンと裏返る。

そんなシーンを想像して書きました。

いろいろな設定をあいまいにしたまま、雰囲気を描きたいな、と思
って書いてみた作品です。

想像を膨らませて読んでいただければ、うれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9892e/>

天気読み

2010年11月5日07時29分発行